



東部地域の

イメージアップ

大作戦

動画を使った

問合せ 東部まちづくり推進室 (☎39-5229)

小牧市の東のエリア、東部地域。皆さんはどんなイメージをお持ちですか？

この地域は、市内の中でも、人口減少、少子高齢化が急速に進行し、今、たくさんの課題を抱えています。

小牧市では、令和4年3月、これらの課題を希望に変えるための指針として「東部振興構想」を策定しました。

今回は、東部振興構想に掲げるまちの将来像「人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち」を実現するためスタートした「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」で展開される動画を活用した東部の魅力発信の活動を紹介します。



東部地域でつながり、やってみよう！

昨年開催した「東部まちづくりワークショップ」。まちづくりの楽しさを知ってもらおう取組でしたが、今年は「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」と題し、実際にまちづくりの活動を体験しています。

地域住民をはじめ、学生やまちづくりに関わる人など域外の方々も参加したプロジェクトでは、「はじめまして」同士も多いですが、東部地域を何とかしたいという想いは一緒。活動に先立って開催されたワークショップでは3つのテーマに分かれ、具体的に取り組む内容を議論したほか、忙しい合間を縫ってLINEのオープンチャットでも話し合いを続けました。



東部地域のまちづくりに参加してみませんか？

東部まちづくりプラットフォームを開設し、参加者を募集中です。



詳しくはこちら▶



ドローンを活用した動画で魅力発信！

～東部地域のイメージアップのためには？～

このテーマに集まった「東部地域イメージアッププロジェクト」メンバーの答えは、「東部地域にある多くの魅力を動画で発信しよう！」でした。

ドローンでの空撮映像を使うアイデアを加え、小牧市のPRであることから、市広報広聴課とも連携し、市所有のドローンを活用して動画製作を行うことになりました。



第1弾は、東部の葡萄酒工房「小牧ワイナリー」！

動画製作の第1弾は、東部地域が誇るワイン工房「小牧ワイナリー」。

隣接の畑で育てたブドウを中心に1粒1粒選りすぐった素材から醸造したワインは珠玉の一品であり、一連の作業から販売までを障がいのある人たち（仲間）と一緒にやっていることも工房の特色です。

撮影した8/24は晴天に恵まれ、絶好のドローン飛行日和。仲間がブドウを収穫する畑の上空をドローンが舞い、プロジェクトメンバーが見守る中、ワイナリーを背景に笑顔で手を振る仲間たちを空撮して撮影を終えました。

完成した動画は、市公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

ワイナリーの皆さん、ご協力ありがとうございました。



完成動画はこちら▶

こどもマルシェや 青空市、特産物 PRもやってみよう

東部地域でつながり、やってみようプロジェクトでは、動画発信以外にも、いくつかの取組を実施していく予定です。ご期待ください！



プロジェクトの詳細はこちら▶

また、東部の魅力発信がより円滑に行われるきっかけとして活動できればと思います。



▲小塚さん

小塚：この地域にはさまざまな魅力があるので、ワイナリーに続いて、市民四季の森や桃花台ニュータウンを撮影したいと思っています。この取組を通じて、小牧市に何らかの関係のある若者が東部地域に魅力を感じて、将来の定住化につながればと考えています。

Q：この活動に対する想いは？

小塚：高齡化が進む東部地域では、若年世代の転入が欠かせないと考えており、居住地選択の転機以前に地域のイメージを良好にすることを主眼にターゲットを20歳代に設定しました。

Q：動画発信のターゲットは？

この動画製作を牽引する東部地域イメージアッププロジェクト代表の小塚さんに、この活動の目的や想いを伺いました。